

*図書館カレンダー・行事・新しく入った本の情報は城陽高校HP（学校生活>図書館より）に掲載しています。

城陽高校図書館だより

ふみくら

2018-No. 4

平成30年12月3日

京都府立城陽高等学校図書館発行

2018 全国高等学校ビブリオバトル京都府大会に出場！

11月3日、龍谷大学深草キャンパスで行われたビブリオバトル京都府大会に2年1組の宮崎真白さんが出場しました。京都府内の高校から12名が参加し、予選4組の勝者が決勝に進みました。宮崎さんは予選で今大会チャンプ本の発表者と同じ組になり、5分間の時間いっぱい、いぬじゅん著『いつか眠りにつく日』をプレゼンしました。惜しくも決勝には残れませんでした。とても初出場とは思えない堂々とした戦いぶり、素晴らしかったです。本は、表紙の女の子の絵が印象的で、本の帯に書かれた「予想外のラスト」の言葉と宮崎さんのプレゼンを聞けば、読みたくなること必至です。決勝戦のチャンプ本は、米澤穂信著『インシテミル』でした。来年はぜひあなたも参加・観戦してみましょう！



眼鏡をはずしたのは、あがらないようにするための先輩からのアドバイスだそうです。

後期校内読書週間 11/5~9

古雑誌リユース・雑誌付録プレゼント・古本交換会・ビブリオバトル

今年は古本が意外とたくさん交換されました。（チケット・現金合わせて44冊）そして、読書週間に合わせて「SHR読書」が第1学年で実施された影響か、特に5日の昼休みは本を借りる人がたくさん来館し、「行列のできるカウンター」となりました！読書の楽しさが感じられたでしょうか？中学校での「読書の時間」を思い出した人もいることでしょうか。これをきっかけに読書の習慣がついて、図書館利用が増えることを願います。また図書館に面白い本を探しに来てください。

最終日11月9日（金）放課後には第8回JHSLビブリオバトルを開催しました。バトラーは1年生女子、2年生女子、地歴公民科・木内先生の3名でした。観戦者を含め、参加は9名と少なかったですが、それぞれのプレゼンを楽しんで聞きました。

他の人のおすすめ本の紹介を聞くのは面白かった。

それぞれの人の本に対する愛が伝わってきた。

（バトラーは）すごく堂々としていて、プレゼンもわかりやすく、普通にタイトルだけ見たら読むことなんてないなあと思った本も読んでみたいと思った。

— 観戦者感想 —

第8回 JHSL ビブリアバトルで紹介された本(左から発表順)： ☆マークがチャンプ本です。

『本日は、お日柄もよく』原田マハ 著 『きらきらひかる』江國香織 著 ☆『いつか眠りにつく日』いぬじゅん 著



スピーチの極意。

本の内容を詳しく
知ることができて、
本を読みたくなる
ものだった。



こんな結婚生活もあり。

本を知ることがで
きて、参加賞ももら
えて、いいことがた
くさんあります！



驚きの結末。

何回も参加してい
ますが、やっぱり
緊張します。でも
楽しいです。



『思考の整理学』(外山滋比古著) がまた売れているそうです。

プロ野球のドラフト会議で中日から1位指名を受けた大阪桐蔭高校の根尾昂くんが愛読書としてテレビ番組で紹介し、それを見た書店員が特設コーナーを作ったら、「文武両道」という話題性もあり、高校生から親の世代まで幅広い層に購入されているとか。この本は「自分で思考する」ことを軸に情報を取捨選択して生きていくことについてのエッセイです。「グライダー」「セレンディピティ」といった

言葉が印象に残ります。2007年にも、「もっと若い時に読んでいけば…」という書店員のPOPから火がつき、京大・東大のベストセラーになりました。1983年の刊行以来、累計発行部数は200万部を超えています。一般的な文庫の初版発行部数は1万部程度ですから、この本がいかに売れているか、そして息長く読まれているかがわかります。みなさんにも、スマホに操られないために、一読をおすすめします。まず、野球部の諸君から読んでみませんか？ 本校の図書館にありますよ。

11月26日(月)朝日新聞記事「根尾選手・人気も文武両道 愛読書ヒット 12万部重版」より



冬休みの貸出し 12月12日(水) 期末テスト終了翌日から28日(金)まで。

返却期限日は来年1月11日(金) 何冊でも読みただけ、借りることができます。

冬休みの開館 12月25日(火)～28日(金)、1月4日(金) 8:30～13:00

☆クリスマスとお正月の本も展示していますので見に来てください。絵本がたくさんありますよ！☆☆☆☆